

《創立 100 周年準備委員会（学校・同窓会・PTA・高風クラブ）の審議経過メモ》

1. 開催状況

①第 1 回：H26. 1. 16、②第 2 回：6. 11、③第 3 回：9. 4、④第 4 回：12. 15（専門業者コンペ）

（上記④以降は、学校と同窓会が主要事項を打合せし、必要に応じ PTA・高風クラブの意向を学校側が確認する形態で準備を進める。）

2. 重要な合意事項

①基本的な考え方

・学校（生徒・教職員）を主体に同窓会・PTA・高風クラブが一丸で 100 周年事業を推進する。

②専門業者の選定

・100 周年事業の記念誌、式典、祝賀会、募金趣意書等を総合的に企画、運営するため、専門業者を選定し金額上限を定め、個々の業務発注は準備委員会の合意の下で実施する。

3. 主な論点・テーマ

①100 周年事業のコンセプト

・コンセプトワードを「もっと自由に。もっと創造。」とし、サブタイトル等は今後検討する。

（GLHS10 校での相対順位として、100 周年（H30 年度）に京大・阪大・神大の合格者数 100 名を目指し、「高津復活」を強力に支援する。）

②記念誌及び映像の内容

・200 頁程度の記念誌に加え、式典等を映像化した DVD、及び 100 周年関連の CD-ROM 資料の 3 点セットとする。

・販売方法は事前申込み制とし、1 セット単価 5 千円（仮）で 3～4 千冊を目標とし、在校生・関係者へは DVD の無料配布を想定し、発送は平成 31 年 3 月を予定する。

③式典・祝賀会の概要

・平成 30 年 11 月 24 日（土）14：00 に学校行事とし式典（生徒 1,080 名＋教職員＋保護者＋同窓生等⇒1,500 名）を開催し、同日 17：00 に祝賀会（約 1,000 名）をパーティー会費制で実施する。

・生徒の参画（オーケストラ演奏、ダンス演技等）や、ビデオレターや記念誌 DVD の映像等を盛り込み、更に東京会との二元中継を企画して「ALL 高津」を演出する。

・候補会場は、諸条件（式場と祝賀会場（東京 200 名・大阪 800 名の二元中継）の隣接、収容量、演奏・演技の施設品質等）より、グランキューブ大阪とリーガロイヤルホテルを予定する。

④創立 100 周年実行委員会の設置

・現在の準備委員会を、同窓会総会（平成 27 年 8 月 22 日）の承認を得て実行委員会に改組し、役員は岡藤氏（高 20 期：伊藤忠商事社長）が委員長、村田氏（校長）、森田氏（高 21 期）、佐伯氏（高 22 期）、中川氏（PTA）、五十嵐氏（高風クラブ）を予定する。（同窓会以外は承認済）

・同窓会としては「募金特別委員会」を核とし、東京会とも連携しながら期幹事を 3 層（中学～高 19 期、20～30 期、31～67 期）として組織化を図る。

・現役世代層（31～67 期）の幹事不在が顕著であることから、教職員 OB/OG（特に高津同窓生）

からミニ同窓会等の情報等を収集し、同窓会ホームページ・フェイスブック（平成27年5月開設）を通じ期幹事の掘起しを行う。

- ・特別寄付金に対し税務対策委員会を設置する。

⑤募金目標と開始時期

- ・特別寄付金 50 百万円（クリエイトラボ 30 百万円、教職員室空調 20 百万円）、一般寄付金 50 百万円（基金 30 百万円、式典等諸費用 20 百万円）を PTA・高風クラブと合わせ「1 億円」を目指す。
- ・同窓生への趣意書の発送は平成 28 年 3 月、保護者へは同年 3～4 月に配布を予定する。

【参考：クリエイトラボ】

- ・大阪府立高校で初めての“ラーニングcommons”（生徒が能動的に自学自習を實踐できる空間）として、母校の校は「創造」に因んで「クリエイトラボ」とネーミングする。
- ・既存の食堂を改装し 160 名収容の多目的利用が可能な施設とし、同窓会や地域にも開かれたスペースとする。

以上

【参考：会報 33 号 4 ページの一部】

